

ソフトウェア取扱説明書

MPEG Edit Studio® Pro LE
ImageMixer DVD
HD Capture Utility
Audio converter

はじめに

メモリーカード
から読み込む

MPEGフォーマット
映像を編集する

インターネット
TV電話を楽しむ

その他



お買い上げありがとうございます。

ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ビデオカメラの取り扱いについては、ビデオカメラの取扱説明書をお読みください。パソコンの取り扱いについては、パソコン付属の取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なおきにお読みください。

目次

はじめに

こんなこともできます	5
あなただけのムービーを編集しましょう	5
DVD Videoを作成しましょう	5
インターネットTV電話を楽しみましょう	5
本書の読みかた	6
あなたの目的は？	6
記号の意味	6
著作権について	7
他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ	7
本書での画面表示について	7
お問い合わせ先について	7

メモリーカード から読み込む

動作環境（お使いになれるパソコン）	10
パソコンに読み込むまでの流れ	11
ビデオカメラを接続する	12
USBケーブルで接続する	12
メモリーカードの中を見る	14
画像をパソコンにコピーする	15
ビデオカメラを取りはずす	16
画像をパソコンで扱う	18
静止画を表示する	18
静止画を印刷する	18

MPEG フォーマット 映像を編集する

動作環境 (お使いになれるパソコン)	20
準備と操作の流れ	21
アプリケーションソフトをインストールする	22
HD Capture Utilityなどをインストールする	22
MPEG Edit Studio Pro LEをインストールする	26
ImageMixer DVDをインストールする	29
MPEG フォーマット映像を取り込む	32
ビデオカメラを接続する	32
映像を取り込む	35
ビデオカメラを取りはずす	39
映像を編集する	40
MPEG Edit Studio Pro LE を起動する	40
使いかたを知る	41
映像ファイルを追加する	42
映像ファイルを編集する	43
BGM や効果音を合成する	45
別のアプリケーションソフトで音声を加工する	49
操作の流れを確認する	49
WAVE 形式などの音声ファイルを出力する	50
ビデオカメラへ映像を書き戻す	53
映像ファイルを出力する	53
ビデオカメラを接続する	54
映像を書き戻す	55
D-VHS ビデオデッキへ映像を書き戻す	57
映像ファイルを出力する	57
D-VHS ビデオデッキを接続する	57
映像を書き戻す	59
DVD Video を作る	61
映像ファイルを出力する	61
ImageMixer DVD を起動する	62
使いかたを知る	64
メニュー画面をデザインする	65
メディアに書き込む	66

目次

インターネット TV電話を楽しむ

動作環境（お使いになれるパソコン）	70
準備と操作の流れ	71
はじめて使うときの準備	72
TVカメラとして接続する	72
アプリケーションソフトを準備する	75
インターネットで通話する	76
画像が映らないときは	77

その他

こんなときは	80
お問い合わせの際は	84
ご連絡していただきたい内容	84
お問い合わせ先	85
五十音順索引	86

こんなこともできます

あなただけのムービーを編集しましょう

ビデオカメラから MPEG フォーマット映像を読み込んで編集し、あなただけのオリジナル・ムービーを作成できます。ビデオカメラで撮影し、パソコンで編集する。これであなたも映画監督です。完成した作品は、ビデオカメラに書き戻すことができます。

DVD Video を作成しましょう

パソコンで編集したムービーを、DVD に記録できます。
なお、DVD Video の作成には、パソコン用の記録型 DVD ドライブが必要です。

インターネット TV 電話を楽しみましょう

Windows® Messenger とビデオカメラを組み合わせ、インターネット TV 電話を楽しむことができます。
なお、Windows® Messenger を使うには、インターネットへ接続できる回線とメールアドレスが必要です。

本書の読みかた

あなたの目的は？

ここでは、パソコンを使う目的別に、本書をご案内します。

- 静止画ファイルを、メモリーカードからパソコンにコピーしたいとき。
第1章をお読みください (☞ P.9)
- MPEG フォーマット映像を、パソコンで編集したいとき。
第2章をお読みください (☞ P.19)
- DV フォーマット映像を、パソコンで編集したいとき。
別売のDV対応ビデオ編集ソフト (GV-DV1500) をご利用ください。
- 編集したMPEG フォーマット映像を、ビデオカメラに書き戻したいとき。
第2章の「ビデオカメラへ映像を書き戻す」をお読みください (☞ P.53)
- 編集したMPEG フォーマット映像を、D-VHSビデオデッキへ書き戻したいとき。
第2章の「D-VHSビデオデッキへ映像を書き戻す」をお読みください (☞ P.57)
- 編集したMPEG フォーマット映像で、DVD Videoを作りたいとき。
第2章の「DVD Videoを作る」をお読みください (☞ P.61)
- メッセンジャーソフトを使ってTV電話のように通話したいとき。
第3章をお読みください (☞ P.69)
- 付属のソフトウェアが正常に動作しないとき。
付録をお読みください (☞ P.79)

記号の意味

本文には、次の記号が使われています。



操作上の注意などが書かれています。



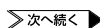
使用上の制限や、知っていると便利な内容が書かれています。



使用中に起こりうるトラブルや、トラブルのように見える現象について書かれています。



関連するページを示しています。



次のページに説明が続きます。

著作権について

あなたが付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- Microsoft、Windows、NetMeeting、HotMail、MSN、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- KDDI R&D LABS、KDDI R&D LABSロゴ、Edit Studio、Edit Studioロゴは、KDDI株式会社（以下、KDDI）もしくは株式会社KDDI研究所（以下、(株)KDDI研究所）の登録商標または商標です。
- Pentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本書での画面表示について

本書では、CD-ROMドライブなどのドライブ名を(D:)としています。お使いのパソコンによっては、ドライブ名が異なることがあります。

お問い合わせ先について

アプリケーションソフトによって、お問い合わせ先が異なります。お問い合わせの際は「お問い合わせ先」（☎ P.85）をご確認ください。

A series of 20 horizontal dotted lines for writing notes.

メモリーカードから読み込む

USB ケーブルを使って、メモリーカードの静止画ファイルをパソコンのハードディスクにコピーできます。



動作環境(お使いになれるパソコン)

次の条件を満たすパソコンは、USB ケーブルでビデオカメラと接続できます。メモリーカードの静止画ファイルをハードディスクにコピーできます。

OS : Windows® XP Home Edition プリインストール版

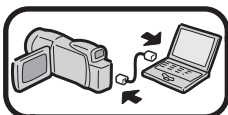
Windows® XP Professional プリインストール版

端子 : 標準装備の USB 端子



- パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。

パソコンに読み込むまでの流れ



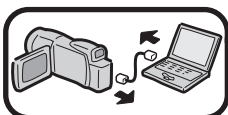
ビデオカメラを接続する (P.12)

USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。



画像をパソコンにコピーする (P.15)

ビデオカメラのメモリーカードから、静止画のファイルをパソコンにコピーします。



ビデオカメラを取りはずす (P.16)

ビデオカメラをパソコンから取りはずし、電源を切ります。



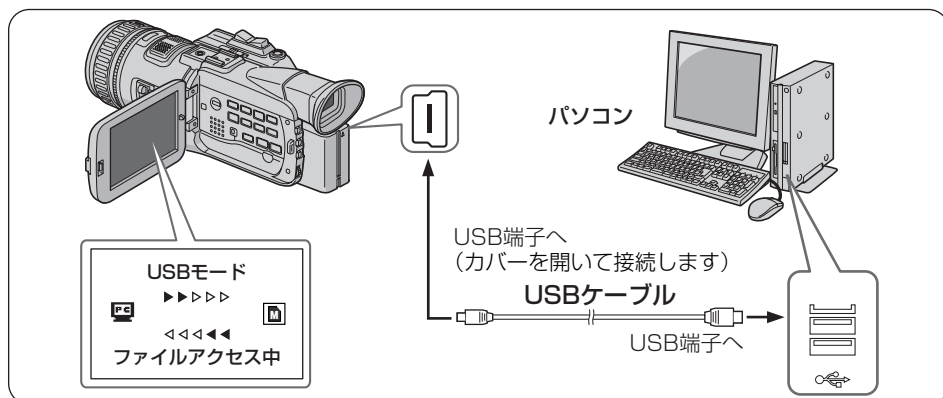
画像をパソコンで扱う (P.18)

静止画をパソコンで見ることができます。

メモリーカードから読み込む

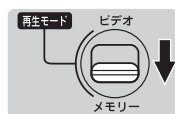
ビデオカメラを接続する

USB ケーブルで接続する



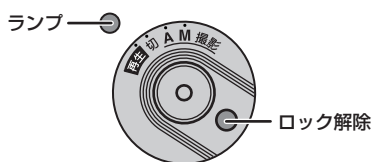
- 1 ビデオカメラの電源を切り、ACアダプターを接続する
- 2 メモリーカードがビデオカメラに入っていることを確認する

- 3 ビデオカメラの再生モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる



- 4 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「再生」をランプの位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。



- 5 USBケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する

ビデオカメラの液晶画面に「USBモード」と表示され、しばらくすると「リムーバブルディスク」が表示されます。



6 「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して「OK」ボタンをクリックする

- 次の「メモリーカードの中を見る」(P.14)へ進んでください。



リムーバブルディスクが表示されないときは

「マイコンピュータ」を開いてください

- 設定によって、自動的に表示されない場合があります。その場合は、「スタート」メニューの「マイコンピュータ」をクリックし、「マイコンピュータ」の中にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックしてください。

正しく接続されていますか？

- ビデオカメラにACアダプターが接続され、電源が入っていることを確認してください。
- USBケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
- 電源付きのUSBハブを使うか、パソコン本体のUSB端子に接続してください。

USB端子はWindowsに認識されていますか？

- コントロールパネルの「システム」のプロパティの「デバイスマネージャ」で、USB (Universal Serial Bus) コントローラを使用可能に設定してください。



- ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されている間は、絶対にUSBケーブルを取りはずさないでください。



- USBハブを経由してパソコンに接続すると、ハブとパソコンの相性によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ハブを使用しないでパソコン本体のUSB端子に接続してください。
- USBケーブルの延長ケーブルは使用しないでください。
- 新たに購入したメモリーカード（アクセサリキットに付属されているメモリーカードを除く）をご使用になる場合は、あらかじめビデオカメラでメモリーカードを初期化してください。パソコンでファイルをコピーできないことがあります。

ビデオカメラを接続する

メモリーカードの中を見る

静止画ファイル（拡張子 JPG）は、メモリーカードの「DCIM」フォルダの中のフォルダに記録されます。



ご注意

- メモリーカードにビデオカメラで使えないファイルを保存したり、メモリーカードからファイルやフォルダを削除すると、ビデオカメラの動作に支障がでることがあります。ファイルを削除するときは、パソコンではなく、ビデオカメラで操作してください。



- 設定によっては、拡張子は表示されません。

画像をパソコンにコピーする

メモリーカードに記録された静止画のファイル（拡張子 JPG）を、パソコンにコピーできます。

1 「スタート」メニューをクリックし、「マイピクチャ」をクリックする

2 新しいフォルダを作成し、フォルダ名を付けてダブルクリックする



3 コピーするファイルを「DCIM」フォルダの中から選ぶ



4 手順 2 で作成したフォルダに、ファイルをドラッグ&ドロップする

ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示され、メモリーカードからパソコンにファイルがコピーされます。

メモリーカードから読み込む

ご注意

- 「ファイルアクセス中」と表示されている間は、絶対に USB ケーブルを取りはずさないでください。

ビデオカメラを取りはずす

メモリーカードを交換するときやパソコンの電源を切るときは、USBケーブルを取りはずしてビデオカメラの電源を切ってください。

1 ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されていないことを確認する

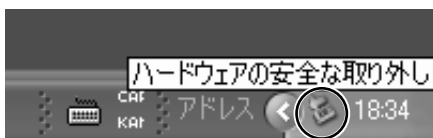
- 「ファイルアクセス中」と表示されているときは、消えるまでしばらくお待ちください。



2 タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックする

「ハードウェアの安全な取り外し」が表示されます。

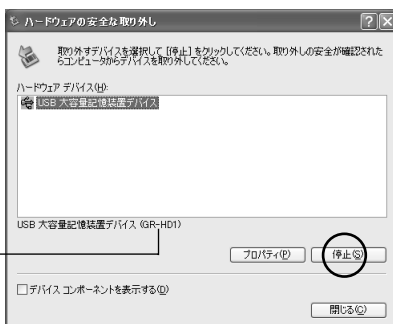
- 表示されない場合は、しばらく待ってから手順5へ進みます。



3 「USB 大容量記憶デバイス」を選択し、「停止」をクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」が表示されます。

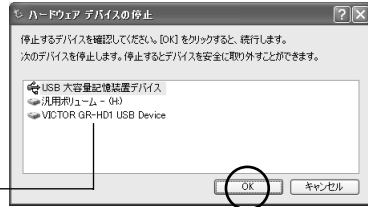
お使いのビデオカメラの機種名が表示されます。



4 「OK」をクリックする

安全に取りはずせることを知らせるメッセージが表示されます。

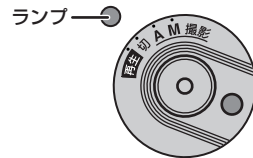
お使いのビデオカメラの機種名が表示されます。



5 USB ケーブルを取りはずす

6 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「切」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が切れます。



画像をパソコンで扱う

静止画を表示する

静止画ファイル（拡張子 JPG）をダブルクリックすると、静止画を表示できます。



印刷

静止画を印刷する

印刷アイコンをクリックすると「写真の印刷ウィザード」が表示され、フォルダの中から静止画ファイルを選択して印刷できます。

印刷する静止画に
チェックを付ける



ご注意

- 静止画ファイルを選択し、「ファイル」→「印刷」の順にクリックして印刷することもできます。

MPEG フォーマット映像を編集する

付属のアプリケーションを使うと、ビデオカメラで撮影した MPEG フォーマット映像をパソコンに取り込んで編集することができます。さらに、編集したビデオ映像をビデオカメラに書き戻したり、DVD Video として保存することができます。



動作環境（お使いになれるパソコン）

次の条件を満たすパソコンは、ビデオカメラで撮影したMPEG フォーマット映像を編集できます。

OS	: Windows® XP Home Edition プリインストール版 Windows® XP Professional プリインストール版
CPU	: Intel® Pentium® 4、2GHz 以上
RAM	: DDR SDRAM または DRD RAM 256MB 以上、ビデオメモリを RAM から取得している場合は 384MB 以上（512MB 以上を推奨）
ハードディスク	: UltraATA100（7200rpm 以上を推奨）
端子	: 標準装備の IEEE1394(i.LINK) 端子
ディスプレイ	: 1024 × 768 以上
ビデオメモリ	: 32MB 以上

DVD Video を作成する場合

上記のパソコンに加えて、ImageMixer DVD が対応する記録型 DVD ドライブが必要です。

また、DVD-RAM メディアは対応していません。

対応ドライブの一覧は、ピクセラ社のホームページでご確認いただけます。

<http://www.imagemixer.com/>



- パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。

準備と操作の流れ



アプリケーションソフトをインストールする (P.22)

付属の CD-ROM からアプリケーションソフトをインストールします。



MPEG フォーマット映像を取り込む (P.32)

ビデオカメラとパソコンを i.LINK ケーブルで接続し、MPEG フォーマット映像をパソコンに取り込みます。

- はじめて接続するときは、ドライバをインストールします。



映像を編集する (P.40)

取り込んだ映像を MPEG Edit Studio Pro LE で編集します。



ビデオカメラなどへ映像を書き戻す (P.53, 57)

編集した映像をビデオカメラや D-VHS ビデオデッキへ書き戻します。

- D-VHS ビデオデッキをはじめて接続するときは、ドライバをインストールします。



DVD Video を作る (P.61)

編集した映像を DVD Video に書き込みます。

アプリケーションソフトをインストールする

HD Capture Utilityなどをインストールする

次の2つのアプリケーションソフトをインストールします。

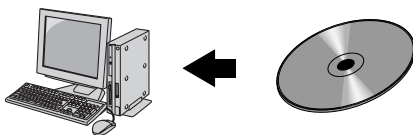
HD Capture Utility : MPEG フォーマット映像のビデオカメラからの取り込みと、ビデオカメラへの書き戻しを行なうアプリケーションソフトです。

Audio converter : 映像にBGMや効果音を追加するときに使うアプリケーションソフトです。一般的な形式の音声ファイルと、MPEG Edit Studio Pro LEで扱えるMPEG形式の音声ファイルを、相互に変換できます。

1 付属のCD-ROMをパソコンにセットする

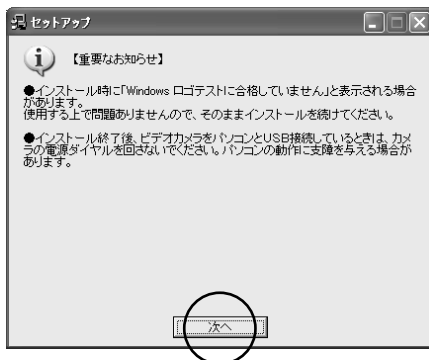
しばらくすると「重要なお知らせ」が表示されます。

- 「重要なお知らせ」が表示されないときは、「スタート」メニューの「マイコンピュータ」をクリックしてCD-ROMなどのアイコンをダブルクリックします。



2 内容を確認し、「次へ」をクリックする

「セットアップ」が表示されます。



3 「HD Capture Utility」の隣の「インストール」をクリックする

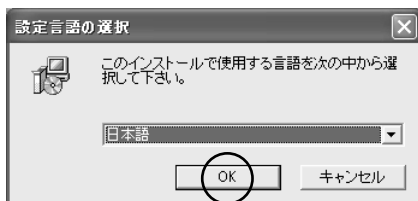
「設定言語の選択」が表示されます。



ソフトウェアの説明が表示されます。

4 「日本語」を選択して「OK」をクリックする

「InstallShield ウィザード」が表示されます。



アプリケーションソフトをインストールする

5 「次へ」をクリックする

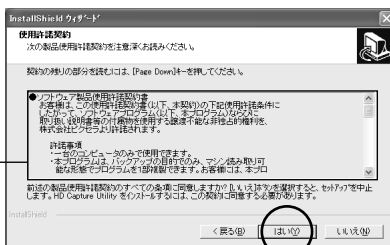
「使用許諾契約」が表示されます。



6 内容を確認し、「はい」をクリックする

「ユーザ情報」が表示されます。

必ず、お読みください。



7 ユーザ名と会社名を入力し、「次へ」をクリックする

- ユーザ名と会社名を入力しないと、「次へ」をクリックできません。個人ユーザの場合も、会社名に何らかの文字を入力してください。

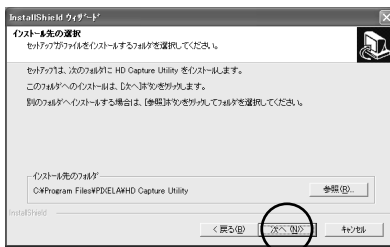
「インストール先の選択」が表示されます。



必ず入力します。

8 「次へ」をクリックする

「ファイルのコピー開始」が表示されます。



9 「次へ」をクリックする

しばらくすると「InstallShield ウィザードの完了」が表示されます。



10 「完了」をクリックする

「セットアップ」に戻ります。



※続いて次の「MPEG Edit Studio Pro LE をインストールする」へ進んでください。

アプリケーションソフトをインストールする

MPEG Edit Studio Pro LE をインストールする

MPEG フォーマット映像を編集するアプリケーションソフトです。

1 「MPEG Edit Studio Pro LE」の隣の「インストール」をクリックする

「MPEG Edit Studio Pro 1.0 LE Setup」が表示されます。

ソフトウェアの説明が表示されます。



2 「次へ」をクリックする

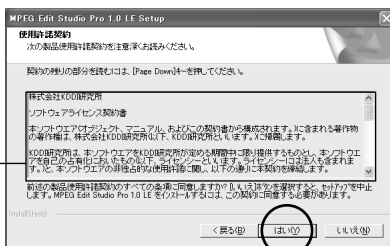
「使用許諾契約」が表示されます。



3 内容を確認し、「はい」をクリックする

「ユーザ情報」が表示されます。

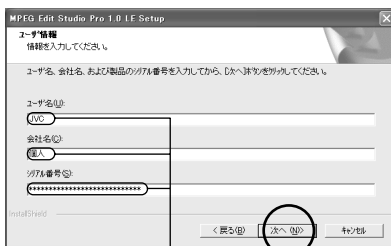
必ず、お読みください。



4 ユーザ名と会社名を入力し、付属のCDケースのラベルに記載されているシリアル番号を入力して、「次へ」をクリックする

- すべての欄に入力しないと「次へ」をクリックできません。個人ユーザの場合も、会社名に何らかの文字を入力してください。
- シリアル番号は大文字と小文字、数字と英文字を間違えないようにご注意ください。

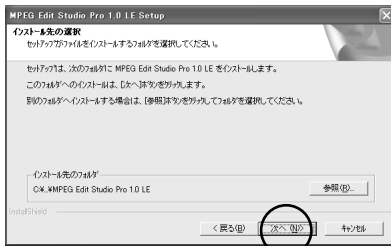
「インストール先の選択」が表示されます。



必ず入力します。

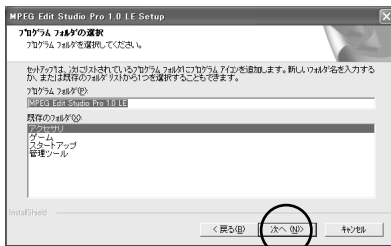
5 「次へ」をクリックする

「プログラムフォルダの選択」が表示されます。



6 「次へ」をクリックする

しばらくすると「InstallShield Wizardの完了」が表示されます。



アプリケーションソフトをインストールする

7 「完了」をクリックする

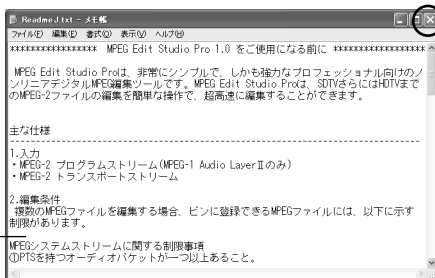
「ReadmeJ.txt」が表示されます。



8 内容を確認し、ウィンドウ右上の [X] をクリックする

ウィンドウが閉じ、「セットアップ」に戻ります。

必ず、お読みください。



※続いて次の「ImageMixer DVDをインストールする」へ進んでください。

ImageMixer DVD をインストールする

DVD Video を作成するアプリケーションソフトです。

1 「ImageMixer DVD」の隣の「インストール」をクリックする

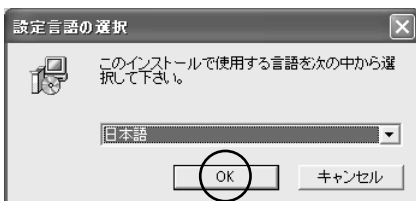
「設定言語の選択」が表示されます。



ソフトウェアの説明が表示されます。

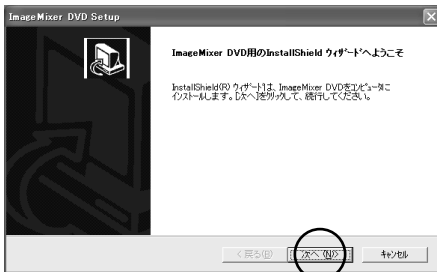
2 「日本語」を選択して「OK」をクリックする

「ImageMixer DVD setup」が表示されます。



3 「次へ」をクリックする

「使用許諾契約」が表示されます。

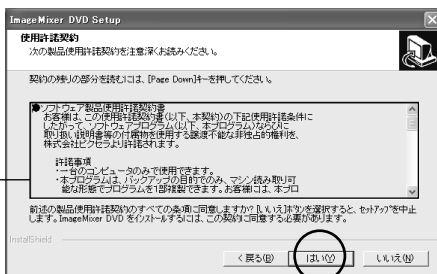


アプリケーションソフトをインストールする

4 内容を確認し、「はい」をクリックする

「ユーザ情報」が表示されます。

必ず、お読みください。



5 ユーザ名と会社名を入力し、「次へ」をクリックする

- ユーザ名と会社名を入力しないと、「次へ」をクリックできません。個人ユーザの場合も、会社名に何らかの文字を入力してください。

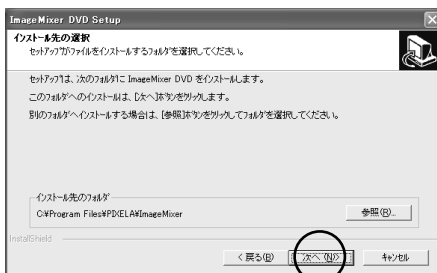
「インストール先の選択」が表示されます。



必ず入力します。

6 「次へ」をクリックする

「ファイルのコピー開始」が表示されます。



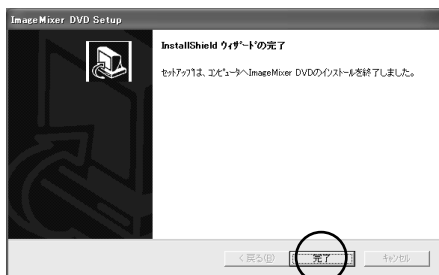
7 「次へ」をクリックする

しばらくすると「InstallShield ウィザードの完了」が表示されます。



8 「完了」をクリックする

インストールが完了し、「セットアップ」が表示されます。



9 「終了」をクリックする

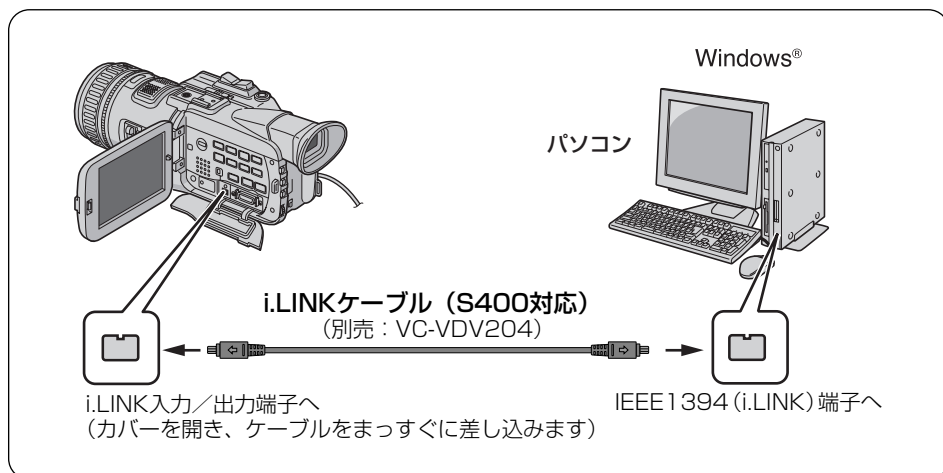
「セットアップ」が閉じます。



※インストールはすべて終了しました。パソコンからCD-ROMを取り出してください。

MPEG フォーマット映像を取り込む

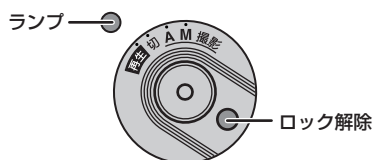
ビデオカメラを接続する



1 ビデオカメラの電源を切り、
ACアダプターを接続する

2 ビデオカメラの電源ダイヤルを
回し、「再生」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。



3 ビデオカメラのシステム設定メ
ニューの「i.LINK出力」を「SW
優先」に設定する

- 詳しくは、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

4 ビデオカメラの出力モード選択スイッチを「MPEG2」の位置に合わせる



5 i.LINK ケーブルで、ビデオカメラの i.LINK 入力／出力端子とパソコンの IEEE1394 端子を接続する

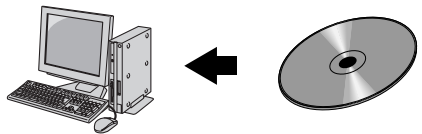
- はじめて接続したときは、しばらくすると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。次の「ドライバのインストール」をご覧ください。

ドライバのインストール

ビデオカメラをはじめて接続したときに、自動的にインストールされます。ビデオカメラから MPEG フォーマット映像を取り込めるようになります。

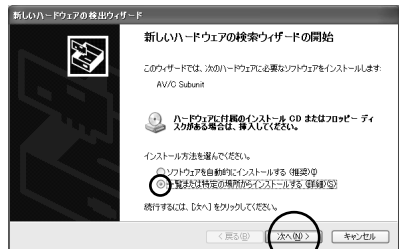
1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

- 「重要なお知らせ」が表示されたときは、「次へ」「終了」の順にクリックして画面を閉じます。



2 「一覧または特定の場所からインストールする」をクリックし、「次へ」をクリックする

ドライバの検索画面が表示されます。



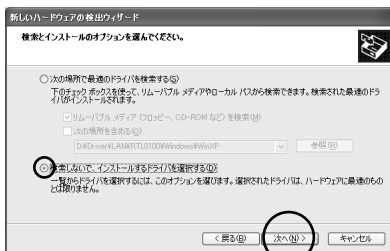
▶ 次へ続く ▶

MPEG フォーマット映像を編集する

MPEG フォーマット映像を取り込む

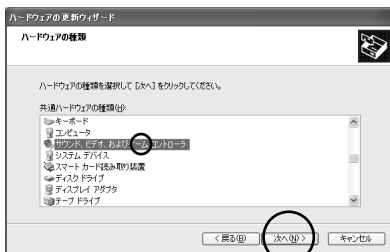
3 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をクリックし、「次へ」をクリックする

「ハードウェアの更新ウィザード」が表示されます。



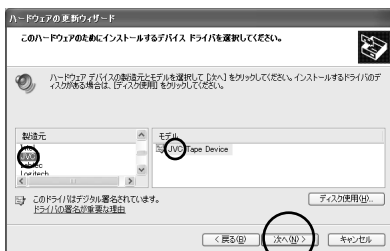
4 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」をクリックし、「次へ」をクリックする

製造元とモデルの指定画面が表示されます。



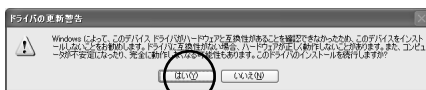
5 製造元の「JVC」をクリックし、モデルの「JVC Tape Device」をクリックして、「次へ」をクリックする

「ドライバの更新警告」が表示されます。表示されない場合は、手順 7 へ進みます。

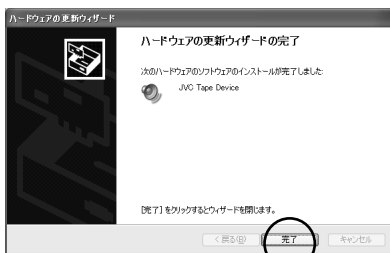


6 「はい」をクリックする

「ハードウェアの更新ウィザードの完了」が表示されます。



7 「完了」をクリックする



映像を取り込む

ビデオカメラから MPEG フォーマット映像を取り込むには、HD Capture Utility を使います。

1 i.LINK ケーブルで、ビデオカメラとパソコンを接続する (P.32)

2 「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」－「PIXELA」－「HD Capture Utility」の順にポイントし、「HD Capture Utility」をクリックする

- デスクトップの「HD Capture Utility 1.0」アイコンをダブルクリックすることもできます。

HD Capture Utility が起動します。



3 ビデオカメラの機種名が表示されていることを確認する

- 機種名が表示されていないときは (P.38)
- D-VHS ビデオデッキを同時に接続しているときは、ビデオカメラの機種名を選択します。



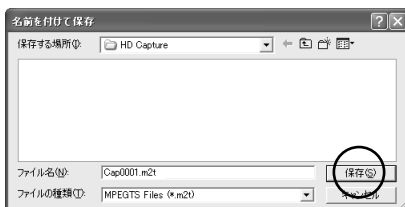
MPEG フォーマット映像を取り込む

4 「インポート」ボタン、参照ボタンの順にクリックする

「名前を付けて保存」が表示されます。

5 保存するフォルダを表示し、「保存」をクリックする

- 保存先は必ず内蔵ハードディスクにしてください。
- 取り込む映像 1 分間あたり、約 150MB（取り込み中は約 300MB）のファイルが保存されます。十分な空き容量がある保存先を指定してください。
- ファイル名は変更できます。



6 操作ボタンを使ってビデオを再生する

ビデオカメラの液晶画面に、映像が表示されます。



操作ボタン

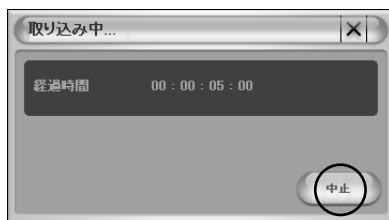
7 ビデオカメラの液晶画面を確認しながら、取り込む映像の少し手前（約 2 秒）で「スタート」をクリックする

「取り込み中」と表示されます。



8 ビデオカメラの液晶画面を確認し、取り込む映像の再生が終わったあとで「中止」をクリックする

取り込みが終了します。



9 ウィンドウ右上の[×]をクリックする

HD Capture Utility が終了します。



- 5秒未満の撮影シーンは取り込めません。
- お使いのパソコンの環境や状態、またはテープのキズや汚れによって、連続したシーンでもファイルが分割されることがあります。
- GR-HD1 からの取り込みのみに対応しています。D-VHS ビデオデッキからは取り込めません。



- 実際に使う映像よりも、前後を少し長めに取り込むことをお勧めします。不要な部分は MPEG Edit Studio Pro LE で削除できます (カット編集)。
- 取り込んだ映像にブランクやドロップアウト、480P と 720P の撮影モードの切り替わりがある場合、保存ファイルは自動的に分割されます。分割された 2 つめ以降のファイルには、ファイル名の末尾に括弧付きの数字が追加されます。たとえば、前ページの手順 5 で表示されたファイル名が「Cap0001.m2t」の場合、2 つめと 3 つめのファイルは「Cap0001(0001).m2t」と「Cap0001(0002).m2t」になります。

MPEG フォーマット映像を取り込む

ビデオカメラが認識されないときは

ビデオカメラの出力を「MPEG2」に設定していますか？

- ビデオカメラの出力モード選択スイッチが「MPEG2」の位置に合っていることを確認してください。
- ビデオカメラのシステム設定メニューの「i.LINK 出力」が「SW 優先」に設定されていることを確認してください。詳しくは、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

取り込むビデオ映像は、MPEG フォーマット映像ですか？

HD Capture Utility は、MPEG フォーマット映像のみに対応しています。DV フォーマット映像を取り込むには、市販の DV 対応ビデオ編集ソフトをご利用ください。

ドライバの再インストール

正しく設定してもビデオカメラの機種名が HD Capture Utility に表示されない場合は、ドライバのインストールに失敗しているかもしれません。次の手順でドライバをインストールしなおしてください。

1 「スタート」をクリックし、「マイコンピュータ」をマウスの右ボタンでクリックし、「プロパティ」をクリックする

「システムのプロパティ」が表示されます。

2 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックする

「デバイスマネージャ」が表示されます。

3 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」をダブルクリックする

4 「JVC Tape Device」をマウスの右ボタンでクリックし、メニューの「削除」をクリックする

- 「JVC Tape Device」がないときは、「その他のデバイス」のなかの「AV/C Tape Recorder/Player」を削除します。

確認のメッセージが表示されます。

5 「OK」をクリックする

6 i.LINK ケーブルをいったん取りはずしてから、再び接続する
しばらくすると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

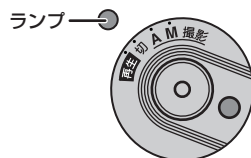
7 ドライバをインストールしなおす (☞ P.33)

ビデオカメラを取りはずす

1 i.LINK ケーブルを取りはずす

2 ビデオカメラの電源ダイヤルを
回し、「切」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が切れます。



映像を編集する

MPEG Edit Studio Pro LE を起動する

MPEG フォーマット映像を編集するには、MPEG Edit Studio Pro LE を使います。

- 1 「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」－「MPEG Edit Studio Pro 1.0 LE」の順にポイントし、「MPEG Edit Studio Pro 1.0 LE」をクリックする

MPEG Edit Studio Pro LE が起動します。



プロジェクトの保存と終了

保存するには

映像の編集中に MPEG Edit Studio Pro LE を終了するときには、あらかじめプロジェクトを保存してください。

「ファイル」メニューをクリックし、「名前を付けてプロジェクトを保存」をクリックすると、プロジェクトを保存できます。

終了するには

「ファイル」メニューをクリックし、「MPEG Edit Studio Pro LE の終了」をクリックすると、MPEG Edit Studio Pro LE を終了できます。

再開するには

映像の編集を再開するには、以前に保存したプロジェクトファイルを開きます。「ファイル」メニューをクリックし、「プロジェクトを開く」をクリックすると、プロジェクトファイルを選択して開くことができます。

使いかたを知る

本書では、MPEG Edit Studio Pro LEを使ったビデオ編集の概要を紹介します。詳しい使いかたや、その他のさまざまな機能については、MPEG Edit Studio Pro LEのヘルプをお読みください。

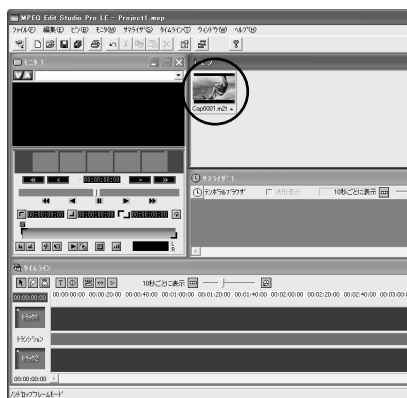
MPEG Edit Studio Pro LEの「ヘルプ」メニューをクリックし、「トピックの検索」をクリックすると、ヘルプを表示できます。



- MPEG Edit Studio Pro LEは機能限定版のアプリケーションソフトです。そのため、画面によっては設定項目が薄く表示され、設定できなくなっています。

映像を編集する

映像ファイルを追加する



1 「ピン」メニューをクリックし、「MPEG ファイルの追加」をクリックする

「MPEG ストリーム」が表示されます。

2 HD Capture Utility で取り込んだ映像ファイル (拡張子 m2t) を選択する

「このファイルは追加可能です。」と表示されます。

- メッセージが表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。

3 「開く」をクリックする

「情報」が表示されます。

4 「OK」をクリックする

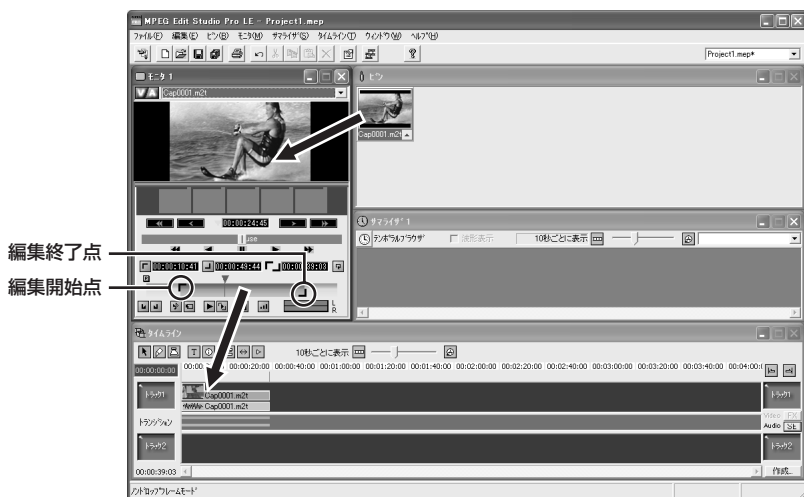
「ピン」にファイルが追加されます。

- この操作を繰り返すと、複数のファイルを追加できます。ただし、撮影モードが HD (720P) と SD (480P) の映像ファイルは、ひとつのプロジェクトに混在できません。

映像ファイルを編集する

映像のカット編集

撮影した映像ファイルに不要な部分があるときは、次の手順で必要な部分だけを切り出すことができます（カット編集）。



1 ファイルを「ビン」から「モニタ」へドラッグする

「モニタ」に映像が表示されます。

2 編集開始点と編集終了点を移動し、切り出す範囲（編集区間）を指定する

- ファイルを再生するときは、再生ボタン (▶) をクリックします。
- 編集区間を再生するときは、区間再生ボタン (⏮) をクリックします。

3 編集区間を「モニタ」から「タイムライン」へドラッグする

「タイムライン」に編集区間が表示されます。

映像を編集する

映像の合成

.....

複数の映像ファイルを繋いでひとつの映像にするには、「タイムライン」にそれぞれの映像ファイルをドラッグします。

映像の繋ぎ目に、さまざまな効果を加えることもできます。詳しくは、ヘルプをご覧ください。

BGM や効果音を合成する

MPEG2 形式への変換

パソコンで作成した音声ファイルを BGM や効果音として使うには、MPEG2 形式 (MPEG2 プログラムストリーム形式) の音声ファイルへ、Audio converter であらかじめ変換する必要があります。

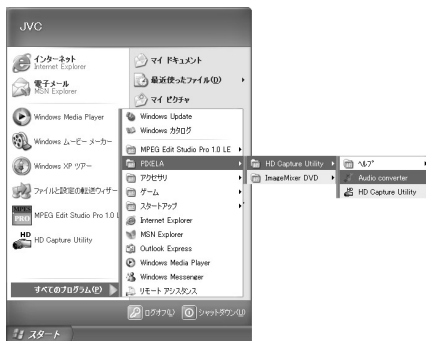
Audio converter は、次の形式の音声ファイルを MPEG2 形式 (拡張子 mpg) に変換できます。

- WAVE (拡張子 wav)
- Windows Media™ Audio (拡張子 wma)
- MPEG Audio (拡張子 mpg)
- MPEG Audio LayerII (拡張子 mp2)
- MPEG Audio LayerIII (拡張子 mp3)

1 「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」－「PIXELA」－「HD Capture Utility」の順にポイントし、「Audio converter」をクリックする

- デスクトップの「Audio converter 1.0」アイコンをダブルクリックすることもできます。

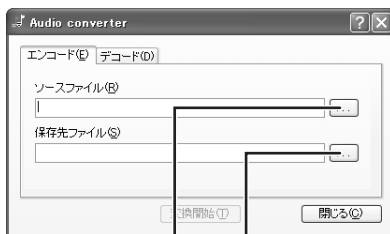
Audio converter が起動します。



映像を編集する

2 「エンコード」タブをクリックし、「ソースファイル」の参照ボタンをクリックする

「ファイルを開く」が表示されます。



ソースファイルの参照

保存先ファイルの参照

3 変換する音声ファイルを選択し、「開く」をクリックする

4 「保存先ファイル」の参照ボタンをクリックする

「名前を付けて保存」が表示されます。

5 作成する音声ファイルの保存先を表示し、「保存」をクリックする

6 「変換開始」をクリックする

しばらくすると「変換が完了しました。」と表示され、MPEG2形式の音声ファイルが保存されます。



7 「OK」をクリックする

8 ウィンドウ右上の閉じるボタンをクリックする

Audio converter が終了します。

音声ファイルの追加

Audio converterで作成した音声ファイルを、映像ファイルと同じ操作で「ビン」に追加します。「映像ファイルを追加する」(P.42)をご覧ください。

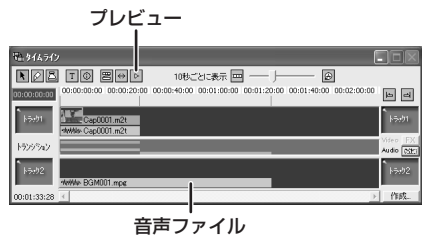
音声ファイルに不要な部分があるときは、必要な部分だけを切り出すことができます(カット編集)。詳しくは「映像のカット編集」(P.43)をご覧ください。

音声ファイルのミキシング

1 音声ファイルを「ビン」から「タイムライン」のトラック2へドラッグする

- ここでは、トラック1に映像があるものとします。

「タイムライン」に音声ファイルが表示されます。



2 プレビューボタンをクリックして再生し、追加した音声の位置と音量を確認する

3 「タイムライン」の「SE」をクリックし、「トランジション」のトラック1とトラック2の音声を重ねた部分ををクリックする

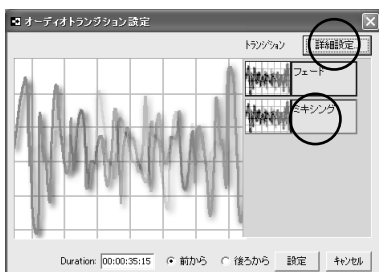
「オーディオのトランジションの設定」が表示されます。



映像を編集する

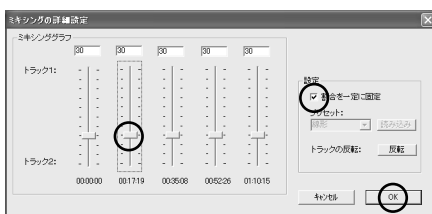
4 「ミキシング」をクリックし、「詳細設定」をクリックする

「ミキシングの詳細設定」が表示されます。



5 「割合を一定に固定」にチェックを付け、スライダを動かしてトラック1とトラック2の音量バランスを調節し、「OK」をクリックする

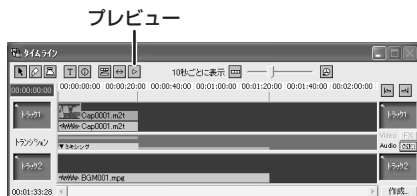
- 時間と共に音量バランスを変化させるには、チェックを外してスライダを個別に設定します。



6 「設定」をクリックする

7 プレビューボタンをクリックして再生し、音量を確認する

- 音量を調節しなおすには、手順3～6を繰り返します。



別のアプリケーションソフトで音声を加工する

操作の流れを確認する

市販の音声加工アプリケーションソフトをお使いの場合、MPEG Edit Studio Pro LEで編集した映像の音声を、次の操作で加工できます。

音声を加工してから元の音声と入れ替えることで、MPEG Edit Studio Pro LEではできない音声効果を加えたり、複数の音声素材をミキシングすることができます。

1 MPEG Edit Studio Pro LEから音声ファイルを出力し、Audio converterでWAVE形式に変換する

- 次の「WAVE形式などの音声ファイルを出力する」をご覧ください。

2 音声加工アプリケーションソフトで音声ファイル（WAVE形式）を加工する

- お使いの音声加工アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

3 Audio converterでMPEG2形式に変換し、MPEG Edit Studio Pro LEに追加する

- 「BGMや効果音を合成する」(P.45)をご覧ください。

別のアプリケーションソフトで音声を加工する

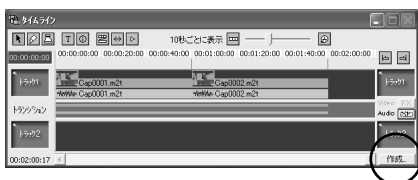
WAVE 形式などの音声ファイルを出力する

音声ファイルの出力

MPEG Edit Studio Pro LEで編集した映像や音声から、音声のみをMPEG1形式（MPEG1エレメンタリストリーム形式）の音声ファイル（拡張子m1a）として出力できます。

1 「タイムライン」の「作成」をクリックする

「編集設定」が表示されます。



2 「編集終了時に通知」と「オーディオストリーム出力」のみにチェックを付け、「参照」をクリックする

「オーディオストリームの保存」が表示されます。



最後にクリックする

3 ファイルの保存先を表示し、「保存」をクリックする

4 「編集開始」をクリックする

「エディットスプーラ」が表示され、MPEG1形式の音声ファイルが出力されます。出力が終了すると、「終了」と表示されます。

5 「OK」をクリックする

WAVE 形式への変換

MPEG1 形式の音声ファイル（拡張子 m1a）を、一般的な WAVE 形式（拡張子 wav）に変換します。

1 「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」－「PIXELA」－「HD Capture Utility」の順にポイントし、「Audio converter」をクリックする

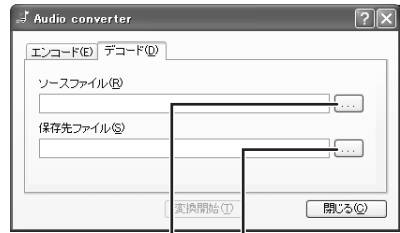
- デスクトップの「Audio converter 1.0」アイコンをダブルクリックすることもできます。

Audio converter が起動します。



2 「デコード」タブをクリックし、「ソースファイル」の参照ボタンをクリックする

「ファイルを開く」が表示されます。



ソースファイルの参照

保存先ファイルの参照

3 変換する音声ファイルを選択し、「開く」をクリックする

4 「保存先ファイル」の参照ボタンをクリックする

「名前を付けて保存」が表示されます。

➡ 次へ続く

別のアプリケーションソフトで音声を加工する


5 作成する音声ファイルの保存先を表示し、「保存」をクリックする

6 「変換開始」をクリックする

しばらくすると「変換が完了しました。」と表示され、WAVE形式の音声ファイルが保存されます。



7 「OK」をクリックする

8 ウィンドウ右上の  をクリックする

Audio converter が終了します。

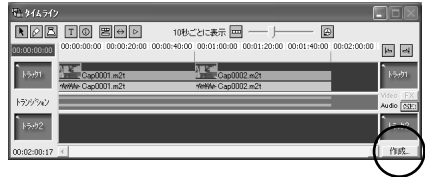
ビデオカメラへ映像を書き戻す

映像ファイルを出力する

ビデオカメラへ書き戻すために、編集した映像を MPEG Edit Studio Pro LE から MPEG2-TS 形式（拡張子 m2t）で出力します。

1 「タイムライン」の「作成」をクリックする

「編集設定」が表示されます。



2 「編集終了時に通知」と「システムストリーム出力」のみにチェックを付け、「参照」をクリックする

「システムストリームの保存」が表示されます。



最後にクリックする

3 ファイルの保存先を表示し、「保存」をクリックする

4 「編集開始」をクリックする

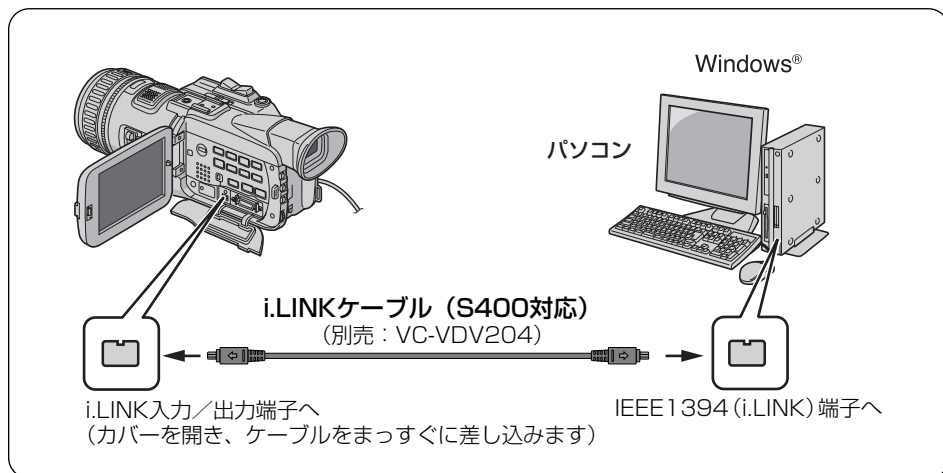
「エディットスプーラ」が表示され、MPEG フォーマット映像のファイルが出力されます。出力が終了すると、「終了」と表示されます。

5 「OK」をクリックする

ビデオカメラへ映像を書き戻す

ビデオカメラを接続する

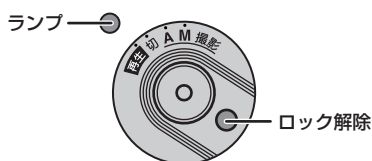
i.LINK ケーブルでビデオカメラを接続します。映像を取り込むときと操作が異なるので、ご注意ください。



1 ビデオカメラの電源を切り、
ACアダプターを接続する

2 ビデオカメラの電源ダイヤルを
回し、「再生」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。



3 ビデオカメラのビデオ再生モード設定メニューの「アナログ入力」
を「切」に設定する

- 詳しくは、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

4 i.LINK ケーブルで、ビデオカメラの i.LINK 入力/出力端子とパソ
コンの IEEE1394 端子を接続する

映像を書き戻す

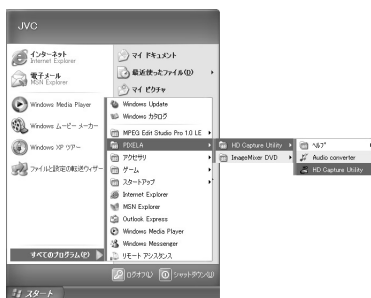
ビデオカメラへMPEGフォーマット映像を書き戻すには、HD Capture Utility を使います。

1 i.LINK ケーブルで、ビデオカメラとパソコンを接続する (P.54)

2 「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」－「PIXELA」－「HD Capture Utility」の順にポイントし、「HD Capture Utility」をクリックする

- デスクトップの「HD Capture Utility 1.0」アイコンをダブルクリックすることもできます。

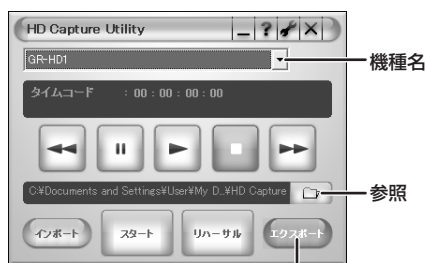
HD Capture Utility が起動します。



HD Capture Utility 1.0

3 ビデオカメラの機種名が表示されていることを確認する

- 機種名が表示されていないときは (P.38)
- D-VHS ビデオデッキを同時に接続しているときは、ビデオカメラの機種名を選択します。

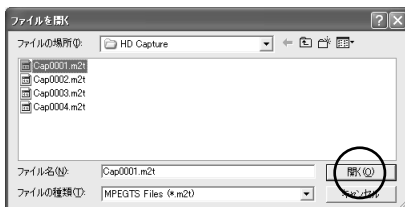


4 「エクスポート」ボタン、参照ボタンの順にクリックする

「ファイルを開く」が表示されます。

ビデオカメラへ映像を書き戻す

- 5** 書き戻すファイル（拡張子 m2t）を選択し、「開く」をクリックする

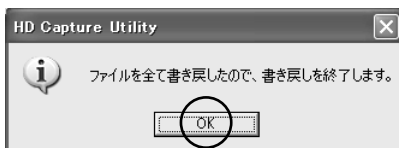



- 6** 記録できるカセットテープをビデオカメラに入れ、「スタート」をクリックする

「書き戻し中」と表示され、ビデオカメラで録画が開始されます。しばらくすると録画が停止し、「ファイルを全て書き戻したので、書き戻しを終了します。」と表示されます。



- 7** 「OK」をクリックする



- 8** ウィンドウ右上の  をクリックする

HD Capture Utility が終了します。

書き戻す前に映像を確認するには

手順6の前に「リハーサル」をクリックすると、書き戻すときと同じように、ビデオカメラの液晶画面に書き戻す映像が表示されます。ただし、ビデオカメラは録画しません。



- 「スタート」または「リハーサル」をクリックしてもビデオカメラの液晶画面に映像が表示されない場合は、ビデオカメラの入力モードなどの設定を確認してください。

D-VHS ビデオデッキへ映像を書き戻す

i.LINK ケーブルで D-VHS ビデオデッキとパソコンを接続し、編集した MPEG フォーマット映像に対応する D-VHS ビデオデッキへ書き戻すことができます。

対応する D-VHS ビデオデッキ

HM-DH30000、HM-DH35000（2003年3月現在）

映像ファイルを出力する

「ビデオカメラへ映像を書き戻す」の「映像ファイルを出力する」（P.53）をご覧ください。

D-VHS ビデオデッキを接続する

D-VHS ビデオデッキを i.LINK 入力モードに設定し、D-VHS ビデオデッキの i.LINK 端子とパソコンの IEEE1394 端子を i.LINK ケーブルで接続します。詳しくは、お使いの D-VHS ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

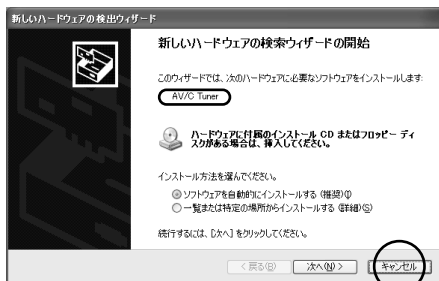
はじめて接続したときは

しばらくすると「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。次の手順でドライバをインストールしてください。

1 画面に「AV/C Tuner」とあることを確認し、「キャンセル」をクリックする

- 「AV/C Tape Recorder/Player」とあるときは、「ドライバのインストール」（P.33）の操作を行ってください。

「新しいハードウェアの検索ウィザード」が閉じます。



D-VHS ビデオデッキへ映像を書き戻す

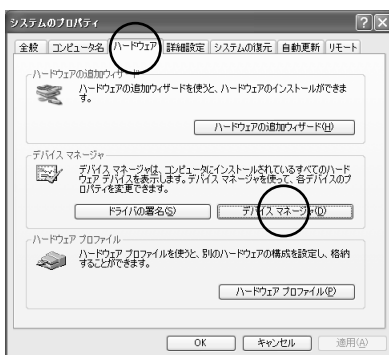
- 2** 「スタート」をクリックし、「マイコンピュータ」をマウスの右ボタンでクリックし、「プロパティ」をクリックする

「システムのプロパティ」が表示されます。



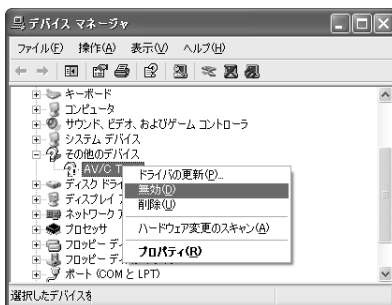
- 3** 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックする

「デバイスマネージャ」が表示されます。

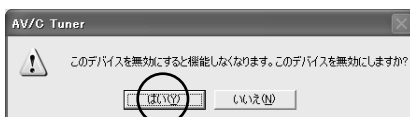


- 4** 「その他のデバイス」をダブルクリックし、「AV/C Tuner」をマウスの右ボタンでクリックして「無効」をクリックする

確認のメッセージが表示されます。



- 5** 「はい」をクリックする



映像を書き戻す

「ビデオカメラへ映像を書き戻す」の「映像を書き戻す」(P.55)をご覧ください。
ビデオカメラの機種名の代わりに、D-VHS ビデオデッキの機種名を選択します。

D-VHS ビデオデッキが認識されないときは

D-VHS ビデオデッキの機種名が HD Capture Utility に表示されないときは、D-VHS ビデオデッキの設定と接続を確認してください。

正しく設定しても表示されない場合は、ドライバのインストールに失敗しているかもしれません。次の手順でドライバを再インストールしてください。

1 「スタート」をクリックし、「マイコンピュータ」をマウスの右ボタンでクリックし、「プロパティ」をクリックする

「システムのプロパティ」が表示されます。

2 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックする

「デバイスマネージャ」が表示されます。

3 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」をダブルクリックする

4 「JVC Tape Device」をマウスの右ボタンでクリックし、メニューの「削除」をクリックする

- 「JVC Tape Device」がないときは、「その他のデバイス」のなかの「AV/C Tape Recorder/Player」を削除します。

確認のメッセージが表示されます。

5 「OK」をクリックする

6 「その他のデバイス」をダブルクリックする

D-VHS ビデオデッキへ映像を書き戻す

7 「AV/C Tuner」をマウスの右ボタンでクリックし、メニューの「削除」をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

8 「OK」をクリックする

9 i.LINK ケーブルをいったん取りはずしてから、再び接続する

しばらくすると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

10 ドライバをインストールする (🔍 P.57)

DVD Video を作る

映像ファイルを出力する

DVD Video を作成するために、編集した映像を MPEG Edit Studio Pro LE から MPEG2 形式（拡張子 mpg）で出力します。

1 「タイムライン」の「作成」をクリックする

「編集設定」が表示されます。



2 「編集終了時に通知」と「MPEG-2変換」のみにチェックを付け、「参照」をクリックする

「MPEG ストリームファイルの保存」が表示されます。



3 ファイルの保存先を表示し、「保存」をクリックする

4 「編集開始」をクリックする

「エディットスプーラ」が表示され、MPEG フォーマット映像のファイルが出力されます。出力が終了すると、「終了」と表示されます。

5 「OK」をクリックする



- 映像ファイルの出力には時間がかかります。お使いのパソコンの環境によっては、出力する映像の長さの20倍以上の時間がかかることがあります。
- DVD Video用のMPEG2ファイルは、Windows Media™ Playerなどの一般的なムービー再生ソフトでは再生できないことがあります。



- 映像ファイルの出力に時間がかかりすぎる場合、手順3の次に「設定」ボタンをクリックして「MPEG-2変換」を表示すると、「変換速度」をより速く設定できます。ただし、画質を優先するときは「ノーマル」から変更しないことをお勧めします。

DVD Video を作る

ImageMixer DVD を起動する

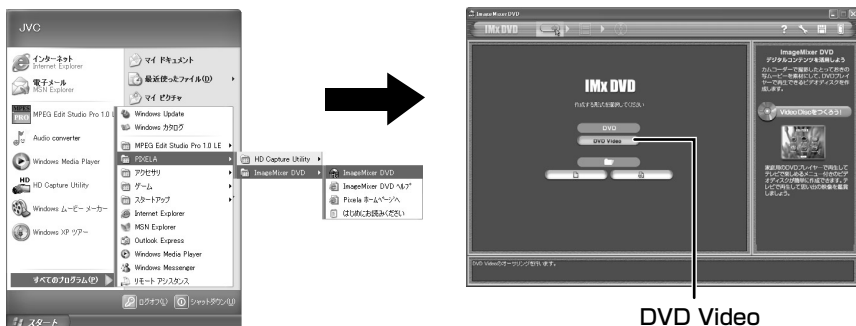
DVD Video を作成するには、ImageMixer DVD を使います。

1 「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」－「PIXELA」－「ImageMixer DVD」の順にポイントし、「ImageMixer DVD」をクリックする

- デスクトップの「ImageMixer DVD 1.0」アイコンをダブルクリックすることもできます。



ImageMixer DVD が起動します。



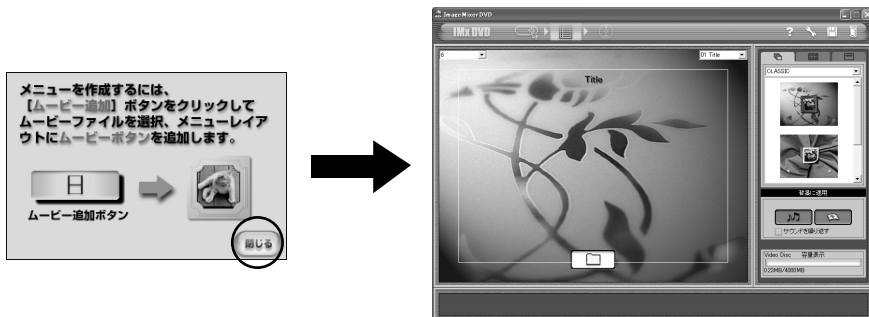
DVD Video

2 DVD Video を作成するには、「DVD Video」をクリックする

説明の画面が表示されます。

3 説明を読み、「閉じる」をクリックする

メニューレイアウト画面が表示されます。



プロジェクトの保存と終了

保存するには

メニュー画面の作成中に ImageMixer DVD を終了するときには、あらかじめプロジェクトを保存してください。

ImageMixer DVD 画面の右上にある保存ボタンをクリックすると、プロジェクトを保存できます。



終了するには

ImageMixer DVD 画面の右上にある終了ボタンをクリックすると、ImageMixer DVD を終了できます。

再開するには

メニュー画面の作成を再開するには、以前に保存したプロジェクトファイルを開きます。前ページの手順2で開くボタンをクリックすると、プロジェクトファイルを選択して開くことができます。



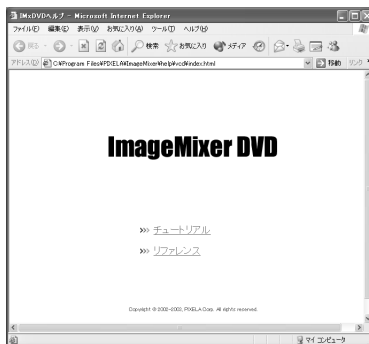
DVD Video を作る

使いかたを知る

本書では、ImageMixer DVD を使った DVD Video 作成の概要を紹介します。詳しい使いかたについては、ImageMixer DVD のヘルプをお読みください。ImageMixer DVD 画面の右上にあるヘルプボタンをクリックすると、ヘルプを表示できます。



ヘルプボタン



メニュー画面をデザインする

MPEG Edit Studio Pro LE で出力した映像ファイル（拡張子 mpg）を ImageMixer DVD へ登録し、DVD のメニュー画面をデザインします。



1 DVDのタイトルを入力する

2 映像ファイル（拡張子 mpg）を登録する

登録した映像ファイルが、ムービーボタンとして表示されます。

- 映像ファイルはディスク 1 枚に総容量 4GB まで、ムービーボタンはメニュー画面ごとに 6 個まで登録できます。

3 ボタン名を変更する

- ボタンの形状も変更できます。

DVD Video を作る

メディアに書き込む

メニュー画面の動作を確認し、DVD メディアに書き込みます。



1 プレビュー/作成ボタンをクリックする

プレビュー/作成画面が表示されます。

2 プレビュー用の再生ボタンを使って、DVD プレーヤーでの動作を確認する

- 修正したい箇所があるときは、メニューレイアウトボタンをクリックします。

3 作成ボタンをクリックする

作成画面が表示されます。

4 ディスク名を入力し、「DVDの作成」にチェックを付け、記録型 DVD ドライブを選択する

- ディスク名は大文字の半角英数字で、30文字まで入力できます。



最後にクリックする

5 DVD メディアをドライブにセットし、「OK」をクリックする

DVD Video が作成されます。

非対応の記録型 DVD ドライブをお使いの場合は

ImageMixer DVD が対応していない記録型 DVD ドライブをお使いの場合は、株式会社 ピクセラ ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。(P.85)

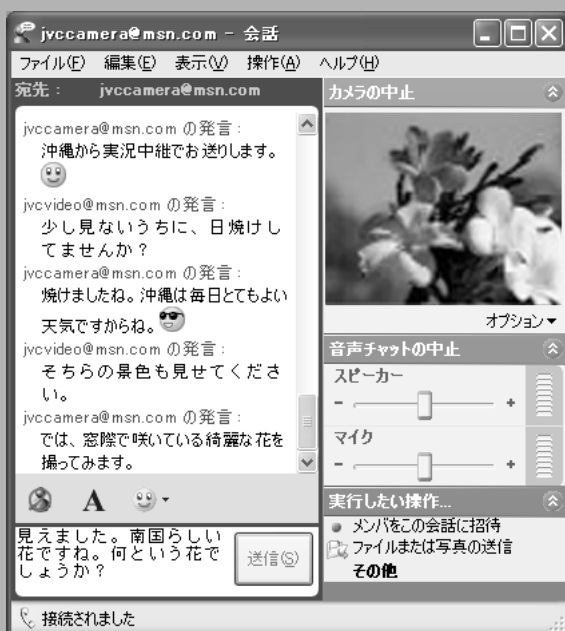


- 使用できる DVD メディアは、ドライブによって異なります。お使いのドライブの取扱説明書をお読みください。なお、DVD-RAM メディアは使用できません。
- DVD プレーヤーによる再生は保証しておりません。

A series of horizontal dotted lines for taking notes.

インターネットTV電話を楽しむ

Windows® Messenger を使って、ビデオカメラをインターネット経由のTV電話にすることができます。



動作環境(お使いになれるパソコン)

次の条件を満たすパソコンをお使いの場合、ビデオカメラをTVカメラとして、インターネットTV電話を楽しむことができます。

ハードウェア

- OS : Windows® XP Home Edition プリインストール版
Windows® XP Professional プリインストール版
- 端子 : 標準装備のUSB端子

ソフトウェア

Windows® Messenger Ver4.6以降が必要です。古いバージョンがインストールされている場合は、マイクロソフト社のホームページから最新版をダウンロードして、インストールします。

<http://messenger.msn.co.jp>

<http://messenger.msn.co.jp/default.asp?client=0>

(2003年3月現在)

その他

インターネットへ接続できる回線と、メールアドレスが必要です。あらかじめご用意ください。

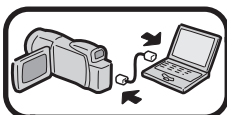
最新情報については、ビクターホームページでも紹介する予定です。

<http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/webcamera/faq.html>



- パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。
- 通話相手がWindows® NetMeeting®を使う場合、Windows® Messengerでは通話できません。Windows® NetMeeting® 3.0以降を使用してください。(2003年3月現在)
- ダイアルアップルータやブロードバンドルータをご利用の場合は、ルータの取扱説明書をご覧ください。
- インターネットにダイアルアップ接続する場合でも、ファイアウォールやルータを介して接続すると正しくアクセスできません。
- Windows® Messengerが使用できるかどうかは、加入されているプロバイダにご確認ください。
- 通話中の画像や音声の品質は、通信回線の状態に依存します。

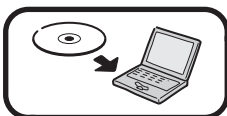
準備と操作の流れ



TV カメラとして接続する (☞ P.72)

USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。

- 接続の方法は、メモリーカードから読み込むときと異なります。



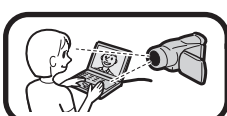
ドライバをインストールする (☞ P.73)

付属の CD-ROM から USB ビデオストリーミングドライバをインストールします。



アプリケーションソフトを準備する (☞ P.75)

アプリケーションソフトを設定します。

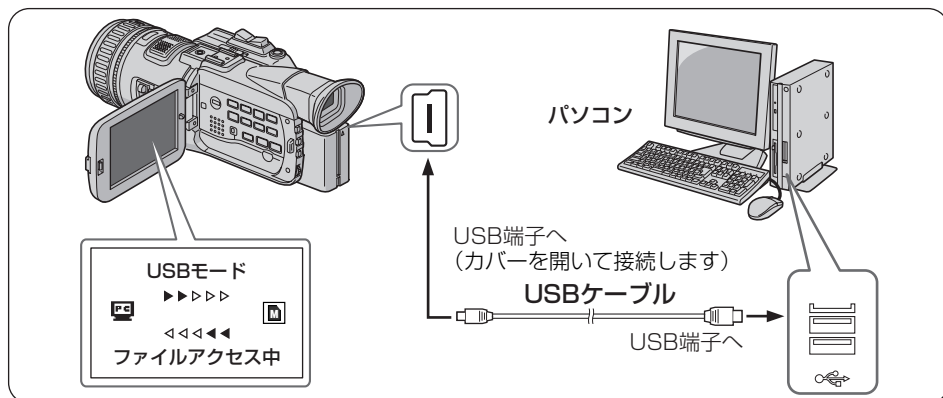


インターネットで通話する (☞ P.76)

ビデオカメラとパソコンを使って TV 電話を行います。

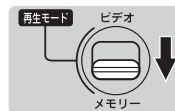
はじめて使うときの準備

TVカメラとして接続する



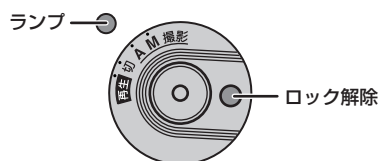
1 ビデオカメラの電源を切り、ACアダプターを接続する

2 ビデオカメラの撮影モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる



3 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「A」または「M」の位置に合わせる

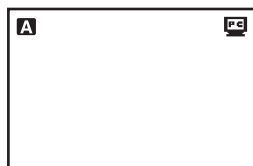
ビデオカメラの電源が入ります。



4 USBケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する

ビデオカメラの液晶画面の右上に PC アイコンが表示されます。

はじめて接続したときは、しばらくすると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。次の「ドライバのインストール」をご覧ください。



ドライバのインストール

ビデオカメラをはじめて接続したときに、4種類のドライバが連続してインストールされます。ビデオカメラをTVカメラとして使えるようになります。

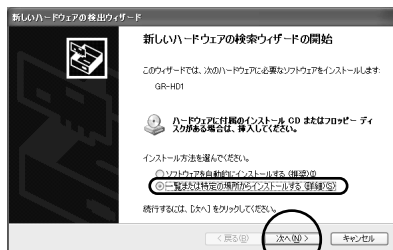
- 注意**
- 操作中に表示される「Windows ログオテストに合格していません」という警告画面では、必ず「続行」ボタンをクリックしてください。「インストールの停止」を選択すると、正しくインストールできません。

1 付属のCD-ROMをパソコンにセットする

- 「重要なお知らせ」が表示されたときは、「次へ」「終了」の順にクリックして画面を閉じます。

2 「一覧または特定の場所からインストールする」をクリックし、「次へ」をクリックする

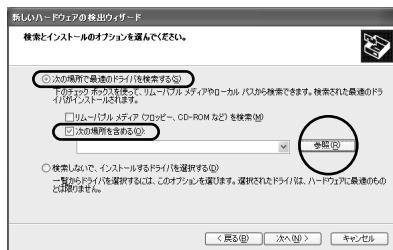
ドライバの検索画面が表示されます。



3 次の3箇所を順にクリックする

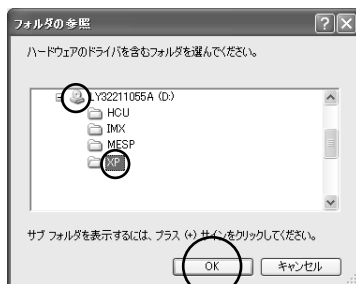
- 「次の場所で最適なドライバを検索する」
- 「次の場所を含める」
- 「参照」

「フォルダの参照」が表示されます。



4 CD-ROMドライブと「XP」フォルダをダブルクリックし、「OK」をクリックする

ドライバの検索画面に戻ります。



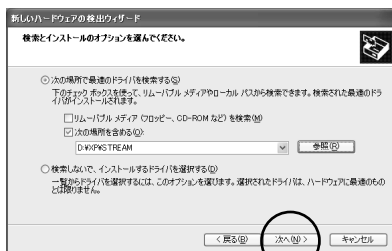
▶ 次へ続く ▶

はじめて使うときの準備

5 「次へ」をクリックする

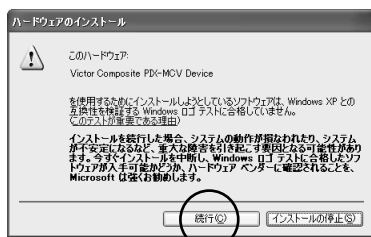
- 画面は、CD-ROM ドライブのドライブ名が(D:)の場合のものです。

警告画面が表示されます。



6 「続行」をクリックする

しばらくすると「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」が表示されます。



7 「完了」をクリックする

再び「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。



8 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されなくなるまで、手順2～7を繰り返す

- 手順2～7を4回繰り返すと、USBビデオストリーミングドライバのインストールが完了します。

※インストールは完了しました。パソコンからCD-ROMを取り出してください。

アプリケーションソフトを準備する

- 1 インターネットに接続し、Windows® Messenger を設定する**
 - Windows® Messenger を立ち上げ、自分のアドレスなどを登録してください。
詳しくは、Windows® Messenger のヘルプをご覧ください。
- 2 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する (P.72)**
- 3 Windows® Messenger の初期画面の「ツール」から「オーディオとビデオのチューニングウィザード」を開く**
- 4 「Victor PIX-MCV Audio Capture」を選択して「次へ」をクリックし、ビデオカメラからの画像が表示されることを確認する**
- 5 「次へ」をクリックし、マイクの設定を「Victor PIX-MCV Audio Capture」に、スピーカの設定をお使いのサウンドボードに設定する**
 - マイクの設定を「Victor PIX-MCV Audio Capture」に設定しているときは、「ヘッドホンを使用している」を選択できません。
- 6 「次へ」をクリックし、スピーカー（ヘッドホン）を確認する**
 - 「テスト」をクリックして、使用するスピーカー（ヘッドホン）から音が出てくることを確認します。
- 7 「次へ」をクリックし、マイクの音量を確認する**
 - ビデオのマイクに普通に話しかけて、緑色のバーが黄色の範囲に入ることを確認します。
 - バーが振れないときは、手順 2 に戻り、ビデオカメラの電源を入れ直してください。
- 8 「次へ」をクリックしてゆき、ウィザードを終了する**

インターネットで通話する

1 インターネットに接続する

2 USBケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する (P.72)

3 Windows® Messenger サービスにサインインする

- あらかじめ通話する相手のアドレスを調べて登録しておきます。登録方法については、Windows® Messenger のヘルプをご覧ください。

4 Windows® Messenger 画面で、自分を含めてオンラインになっている人がいることを確認する

- オンラインに自分以外に誰もいないときは、通話できません。

5 通話したい相手をマウスの右ボタンでクリックする

6 「ビデオチャットの開始」をクリックする

- 会話画面が表示され、相手の返答を待つ状態になります。
- 相手が「承諾」をクリックすると、TV 電話が始まります。

ご注意

- 通話中はビデオカメラの電源ダイヤルを回さないでください。



- ビデオカメラで再生している映像を、Windows® Messenger で送信することもできます。このときは、再生モード選択スイッチを「ビデオ」に、電源ダイヤルを「再生」の位置に合わせます。

画像が映らないときは

Windows® Messenger バージョン 4.6 以降にアップグレードする

Windows® Messenger の最新版は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。

<http://messenger.msn.co.jp>

<http://messenger.msn.co.jp/default.asp?client=0>

Windows® XP をアップデートする

「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」の「Windows Update」をクリックします。詳しくは、Windows® XP のヘルプとマイクロソフト社のホームページをご覧ください。

<http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/>

デバイスドライバを更新する

下記の手順にしたがってデバイスドライバを更新します。

ご注意

- USB オーディオ機器をパソコンに接続している場合は、その機器をパソコンから取りはずしてから次の操作を行ってください。

1 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する(☞P.72)

2 「スタート」をクリックし、「マイコンピュータ」をマウスの右ボタンでクリックし、「プロパティ」をクリックする

「システムのプロパティ」が表示されます。

3 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックする

- 「その他のデバイス」の中に「Victor」または「GR-HD1」「JY-HD10」がある場合は、それを削除します。

4 ビデオカメラから USB ケーブルを取りはずし、パソコンを再起動する

▶ 次へ続く ▶

インターネットで通話する

5 付属のCD-ROMをパソコンにセットし、ドライバをインストールする (☞P.73)

6 手順2～3の方法で「デバイスマネージャ」を開き、次のデバイスが表示されることを確認する

- 「イメージングデバイス」の中 : 「Victor PIX-MCV Video Capture」
- 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の中 : 「Victor PIX-MCV Audio Capture」
「USB オーディオデバイス」
- 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の中 : 「Victor Composite PIX-MCV Device」と「Victor Communication PIX-MCV Video Driver」

その他

付属のソフトウェアが正常に動作しない場合の対処方法などについて記載しています。

こんなときは

共通

疑問	回答
「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されました。	<ul style="list-style-type: none">ビデオカメラを USB ケーブルで接続した場合は、USB ケーブルを取りはずし、再び接続しなおしてください。ビデオカメラまたは D-VHS ビデオデッキを、i.LINK ケーブルではじめて接続した場合は、ドライバをインストールしてください。(P.33、57)i.LINK ケーブルで接続するのが 2 度目以降の場合は、i.LINK ケーブルを取りはずし、ドライバをインストールしたときに接続した IEEE 1394 端子に接続しなおしてください。
パソコンが節電状態から復帰しません。	<ul style="list-style-type: none">USB ケーブルや i.LINK ケーブルを取りはずし、パソコンを再起動してください。USB ケーブルや i.LINK ケーブルを接続しているときは、節電機能 (サスペンド、レジュームなど) をオフにしてください。
アプリケーションの動作中に不具合が生じました。	パソコンを再起動してください。

メモリーカードからの読み込みについて

疑問	回答
USB ケーブルを接続しても何も表示されません。	<ul style="list-style-type: none">「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。(P.13)AC アダプターや USB ケーブルの接続を確認してください。(P.12)電源付きの USB ハブを使うか、パソコン本体の USB 端子に接続してください。デバイスマネージャで、USB (Universal Serial Bus) コントローラを使用可能に設定してください。(P.13)
ファイルをコピーまたは保存できません。	<ul style="list-style-type: none">コピー先または保存先のドライブに十分な空き容量があることを確認してください。コピー先または保存先のドライブが書き込み禁止に設定されていないことを確認してください。コピー先または保存先と同じ名前のファイルがないか確認してください。電源付きの USB ハブを使うか、パソコン本体の USB 端子に接続してください。
ファイルの情報表示などに、正しい作成日が表示されません。	撮影したときに作成日が入っていないファイルは、作成日が正しく表示されません。

MPEG Edit Studio Pro LE について

疑問	回答
CPU の速度が動作環境 (P.20) の条件に満たないパソコンを使っています。どのような不具合がありますか？	MPEG Edit Studio Pro LE で編集中に、プレビュー映像がコマ落ちしたり、音声が入り切ることがあります。
映像の編集用に、ハードディスクの空き容量はどれくらい必要でしょうか？	映像 1 分間あたり、約 300MB の空き容量が必要です。
ハイビジョンビデオカメラ以外で撮影した映像や、インターネットから入手した動画を編集できますか？	MPEG Edit Studio Pro LE は、MPEG2-TS 形式専用のアプリケーションソフトです。ハイビジョンビデオカメラ以外のビデオカメラから取り込んだ映像や、MPEG2-TS 形式以外の動画ファイルは使用できません。
編集した映像をインターネットで配信できますか？	MPEG Edit Studio Pro LE で出力するファイルは、配信向きではありません。DVD Video 用の出力した MPEG2 形式のファイルを、MPEG2 形式に対応した市販のビデオ編集アプリケーションソフトを使って小容量のファイルに変換してください。
編集した映像を Windows Media™ Player などで再生できますか？	いまのところ、MPEG2-TS 形式のファイルを再生できるプレイヤーアプリケーションソフトはありません。また、仮に再生できたとしても、現在のパソコンの性能ではスムーズな再生は困難です。(2003年3月現在) DVD Video 用の出力した MPEG2 形式のファイルを、DVD プレイヤーアプリケーションソフトで再生することをお勧めします。
CD の音楽を編集した映像の BGM にできますか？	Windows Media™ Player で CD から WMA 形式の音声ファイルとして取り込み、付属の Audio converter で MPEG2 形式の音声ファイルに変換すると、MPEG Edit Studio Pro LE で読み込めるようになります。(P.45)
動画にナレーションを加えられますか？	サウンドレコーダーでマイクから WMA 形式の音声ファイルとして取り込み、付属の Audio converter で MPEG2 形式の音声ファイルに変換すると、MPEG Edit Studio Pro LE で読み込めるようになります。(P.45)
HD Capture utility で取り込んだファイルが読み込めません。	テープのデータが正確に読めない場合に、このような症状になります。取り込みをやり直しても改善しない場合は、ヘッドクリーナーをお使いください。
「オーディオストリーム出力」で作成した音声ファイルをピンに追加できません。	「オーディオストリーム出力」で作成した音声ファイルは、ストリーム形式が異なるため、そのままではピンに追加できません。「Audio converter」でエンコードしてから追加してください。
「モニター」や「プレビュー」の映像の動きが不自然だったり、音声が途切れたりします。	「モニター」や「プレビュー」は確認のための簡易再生機能です。不具合はありません。
「プレビュー」のトランジションのタイミングが出力の映像と違います。	「モニター」や「プレビュー」は確認のための簡易再生機能です。不具合はありません。

こんなときは

疑問	回答
<p>「モニタ」や「プレビュー」の映像が異常です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイアダプタのドライバを最新のものに更新してください。(詳しくはパソコンのメーカーにお問合せください) 「画面のプロパティ」を表示し、「設定」タブの「詳細」をクリックします。表示された画面の「トラブルシューティング」タブで「ハードウェアアクセラレータ」を「DirectShowのアクセラレータを無効」(左から2番目)に設定すると、現象を回避できる場合があります。
<p>動作中に「メモリが足りません」と表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一度に全体を編集するのではなく、ブロックごとにある程度の数のクリップを編集して映像ファイルを出力してください。出力するときは「システムストリーム出力」を選択します(☞ P.53)。すべてのクリップを編集したら、最後にそれらの映像ファイルを結合して1本のムービーにします。 パソコンのRAMを増設すると、操作が軽くなる場合があります。増設については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
<p>動作中にエラーが出て停止します。</p>	<p>テープのデータが正確に読めない場合に、このような症状になります。取り込みをやり直しても改善しない場合は、ヘッドクリーナーをお使いください。</p>
<p>タイムラインのクリップの数が増えると操作が重くなります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一度に全体を編集するのではなく、ブロックごとにある程度の数のクリップを編集して映像ファイルを出力してください。出力するときは「システムストリーム出力」を選択します(☞ P.53)。すべてのクリップを編集したら、最後にそれらの映像ファイルを結合して1本のムービーにします。 パソコンのRAMを増設すると、操作が軽くなる場合があります。増設については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
<p>MPEG Edit Studio Pro LEからDVD Video用のMPEG2ファイルを出力すると、とても時間がかかります。元々MPEG2形式で記録されているのに、なぜ時間がかかるのですか？</p>	<p>ハイビジョンビデオカメラで撮影したMPEGフォーマット映像とDVD Video用のMPEG2ファイルは、どちらもMPEG2形式ですが、次の点で性質が異なります。そのため、MPEG2ファイルを出力する際に映像を再エンコードします。</p> <p>相違点：ビットレート、インターレース、GOP構造、画像サイズ(720Pの場合)、フレームレート(480Pの場合)</p>
<p>「タイトル設定」を長めの時間で設定すると、「システムストリーム出力」(☞ P.53)するときに時間がかかります。</p>	<p>タイトルを設定した映像は、出力するときにMPEG2形式に再エンコードされます。そのため、処理に時間がかかります。</p>
<p>DVD Video用に出力したMPEG2形式のファイルが、ムービー再生ソフトで再生できません。</p>	<p>ムービー再生ソフトのMPEG2デコーダ(CODEC)が再生するファイルに対応していない場合は再生できません。</p>
<p>DVD Video用に出力したファイルで作成したDVD Videoの画質が、元の画像より悪いです。市販のDVD Videoと比べても画質が悪いです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> DVD VideoはハイビジョンビデオカメラのMPEGフォーマット映像よりも規格上低画質です。 DVD Video規格のMPEG2にするために、再エンコードを行っており、そのために画質が悪化します。 市販のDVD Videoは可変ビットレート(VBR)ですが、MPEG2エンコードの処理速度を上げるために、固定ビットレート(CRB)になっています。

HD Capture Utility について

疑問	回答
他社製 D-VHS ビデオデッキに、MPEG フォーマット映像を書き戻せますか？	動作を保証できませんが、他社製品に対しての制限は一切行っておりません。
取り込んだ MPEG フォーマット映像のファイルは、MPEG Edit Studio Pro LE 以外のビデオ編集アプリケーションソフトで編集できますか？	いまのところ、MPEG フォーマット映像 (MPEG2-TS 形式) のファイルを編集できるビデオ編集アプリケーションソフトはありません。また、対応するアプリケーションソフトが発売された場合も、動作は保証できません。(2003年3月現在)
ハイビジョンビデオカメラから D-VHS ビデオデッキにダビングした映像を、D-VHS ビデオデッキから HD Capture Utility を使って取り込みました。取扱説明書には「保証していない」とあるのは、なぜでしょうか？	ハイビジョンビデオカメラと D-VHS ビデオデッキは、パソコンからは同じ機器として扱われています。HD Capture Utility で取り込み、MPEG Edit Studio Pro LE で編集できるのは限られた形式だけですが、D-VHS ビデオデッキにはさまざまな形式の映像を記録することができます。そのため、D-VHS ビデオデッキからの取り込みを保証できません。
ビデオカメラの機種名が表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオカメラが次のように設定されていることを確認してください。 電源ダイヤルは「再生」 再生モード選択スイッチは「ビデオ」 出力モード選択スイッチは「MPEG」 「i.LINK 出力」設定は「SW 優先」 i.LINK ケーブルの接続を確認してください。 i.LINK ケーブルを1度抜き差しするか、ビデオカメラの電源ダイヤルを切にしてもう一度「再生」にしてください。 パソコンを再起動してください。 IEEE1394 機器がビデオカメラのほかにある場合は、その機器をはずしてください。 ドライバを再インストールしてください。(P.38)
「インポート」で取り込んだ映像が複数のファイルに分割されます。	<ul style="list-style-type: none"> 撮影シーンごとに複数のファイルに分割されるのは、正常な動作です。 1つのシーンでも、次のような要因で複数のファイルに分割されることがあります。 ハードディスクの書き込み速度が遅い ほかのアプリケーションソフトが動作していた Windows の機能で割り込み動作が発生した (電源管理やスクリーンセーバーなど) テープのキズや汚れによって正確にデータが読めなかった (取り込みをやり直しても改善しない場合は、ヘッドクリーナーをお使いください)
「無記録部分が 5 秒間連続しました」と表示され、映像を取り込めません。	テープにキズや汚れがあると、映像を取り込めないことがあります。
「インポート」で映像を取り込めません。	<ul style="list-style-type: none"> 5 秒未満の撮影シーンは取り込めません。 DV フォーマットで記録した映像は取り込めません。 テープのデータが正確に読めない場合にこのような症状になります。取り込みをやり直しても改善しない場合は、ヘッドクリーナーをお使いください。
「エクスポート」で書き戻した映像の先頭部分や最後の部分が記録されません。	書き戻す機器の仕様上、このようになります。編集時に、記録されなくても良い映像を、先頭部分や最後の部分に入れておくことをお勧めします。

お問い合わせの際は

ご連絡していただきたい内容

電話またはEメールでお問い合わせの際は、下記内容をお伝えください。

品名	デジタルハイビジョンビデオカメラ専用アクセサリキット			
型名	VU-HD1K			
故障の状況				
エラーメッセージの内容				
パソコン	メーカー名			
	機種名	<input type="checkbox"/> デスクトップ <input type="checkbox"/> ノート		
	CPU			
	OS			
	メモリ容量	MB		
	ハードディスク空き容量	MB		
お買い上げ日	年	月	日	
お名前				
ご住所				
電話番号	()	-		
ファックス番号	()	-		

ご質問の内容によっては回答までにお時間がかかることがありますので、あらかじめご了承ください。なお弊社（日本ビクター）とピクセラでは、ご使用のコンピュータについての基本的な操作方法、OS、他のアプリケーションソフト、ドライバーの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。

お問い合わせ先

MPEG Edit Studio Pro LE

MPEG Edit Studio Pro LE のご使用方法、ご質問、ご相談につきましては、弊社（日本ビクター）の DV ご相談窓口までお問い合わせください。お問い合わせの際には、前ページの内容をお伝えください。

電話または FAX の場合は、裏表紙をご覧ください。

Eメールの場合は、ビクターホームページの「お問い合わせ・サポート情報」をクリックしてください。

ビクターホームページ： <http://www.jvc-victor.co.jp/>

ImageMixer DVD, HD Capture Utility, Audio converter

ImageMixer DVD、HD Capture Utility、Audio converter のご使用方法、ご質問、ご相談につきましては、下記のユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、前ページの内容をお伝えください。

株式会社 ピクセラ ユーザーサポートセンター

住所 〒 590-0985 大阪府堺市戎島町 4-45-1 ポルタスセンタービル

Phone 072-224-0181

受付時間 10:00～13:00、14:00～17:00（年末年始、祝祭日、所定定休日を除く）

Fax 072-224-7177

受付時間 24時間受付

メールでのサポートは行っておりません。ご質問や操作方法に関するお問い合わせは、ユーザーサポートセンターまでお電話か FAX にてご連絡ください。

ピクセラホームページ： <http://www.pixela.co.jp/>

五十音順索引

■英数字■

Audio converter	22, 45, 51
DVD Video	61, 81, 82
HD Capture Utility	22, 35, 55, 82
IEEE1394 端子	20, 80
i.LINK ケーブル	32, 54, 57, 80
ImageMixer DVD	29, 61, 82
MPEG Edit Studio Pro LE	26, 40, 81
USB ケーブル	12, 72
USB 端子	10, 70
Windows® Messenger	69

■あ■

インターネット TV 電話	69
---------------	----

■さ■

静止画	14
-----	----

■た■

著作権	7
-----	---

■は■

ピクセラ	85
ヘルプ	41, 64

■ま■

メモリーカード	9
---------	---

A series of horizontal dotted lines for writing notes.



省エネで
守る環境
豊かな暮らし



JVC Loves the Earth

この取扱説明書は
再生紙を使用しています

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング

DVご相談窓口

アクセサリキットに付属の
「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

電話：(045)450-2770

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

東京 電話：(03) 5684-9311
Fax：(03) 5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル

大阪 電話：(06) 6765-4161
Fax：(06) 6765-4891

〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

AV & マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12